

平成 25 年 5 月 16 日

各 位

西日本シティ銀行
NCBリサーチ&コンサルティング

2013年度 九州・山口地区の新入社員意識調査アンケート結果 ～ 人間関係重視のなか、こだわりが強まる ～

西日本シティ銀行グループは各種の調査を継続して実施しております。
今般、連結子会社であるNCBリサーチ&コンサルティングが、毎年4月を中心に行っている新入社員を対象とした公開セミナー及び企業内研修に参加いただいた九州・山口地区の新入社員を対象とした意識調査アンケートの結果がまとまりましたので、ご報告いたします。

【 アンケート結果概要 】

今回のアンケート結果によれば、新入社員の75.3%が「人間関係の良さ」を会社に求め、54.3%が「上司・先輩・同僚との人間関係」に不安を感じている。厳しい就職戦線を勝ち抜いてきた新入社員だが、人間関係を最も気にしていることがうかがえる。一方では、就職先を選択するにあたり、「やりがい」や「自己成長」、「業種・事業内容」を重視する傾向がみられるなど、仕事の内容に対する「こだわり」が強くなったように感じられた。

1. 就職先が「希望どおり」は51.1%、「ほぼ希望どおり」は43.3%、「希望どおりでない」は5.6%という結果であった。
2. 就職先を決める時に重視したことは、「仕事にやりがいがある」が44.5%で最も多く、次いで「業種・事業内容」の40.7%、「会社の雰囲気・イメージ」の37.0%という結果であった。
3. 働く目的は、「生活の安定」が70.5%で最も多く、次いで「自己成長」の60.2%、「やりがい」の44.7%という結果であった。
4. 給料と残業に対する考え方は、「残業は多くても、給料が多いほうがよい」が53.7%、「給料は少なくとも、残業がないほうがよい」が46.3%という結果であった。

詳細は添付の資料をご参照下さい。

【 本件に関するお問い合わせ先 】

NCBリサーチ&コンサルティング 調査部 担当者：原
〒812-0027 福岡市博多区下川端町2番1号 博多座西銀ビル13階
電話番号 092 - 282 - 2662

調査概要

1. 調査の目的

職業等に関する新入社員の意識状況を調査し、傾向を把握すること

2. 調査期間

平成 25 年 3 月 28 日～4 月 17 日

3. 調査対象

平成 25 年春の新入社員で、当社の新入社員公開セミナー及び企業内研修の参加者

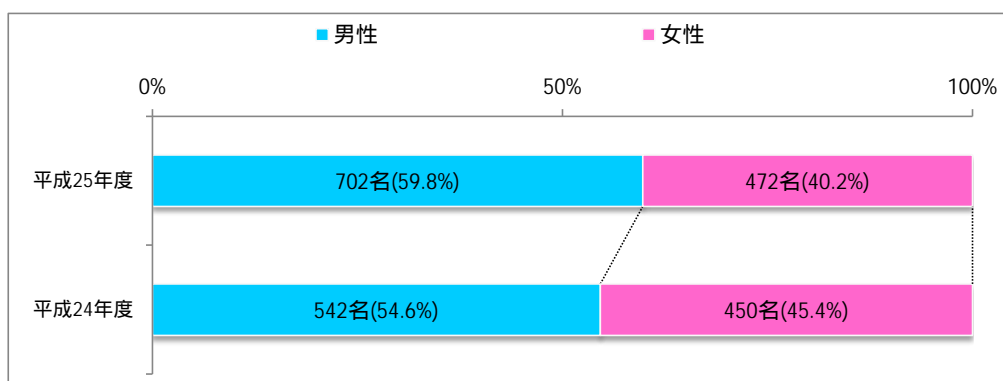
対象：1,192 名（274 社） 回答：1,174 名 回答率：98.5%

研修開催地

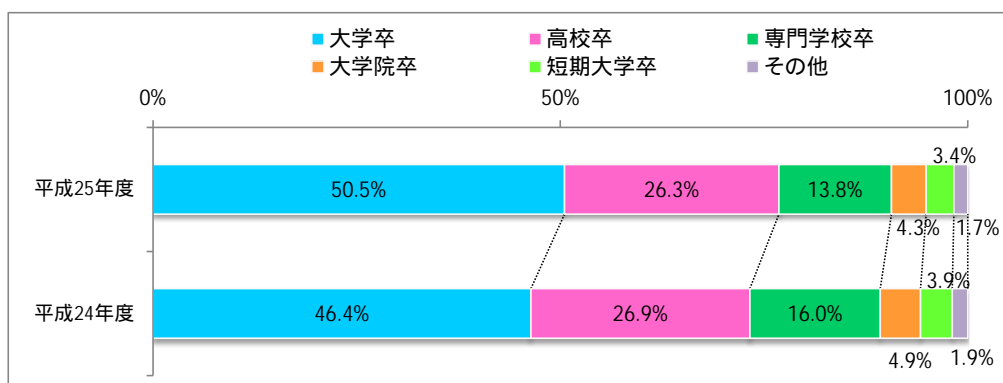
公開セミナー（22 コース）：福岡市、北九州市、久留米市、飯塚市、長崎市、熊本市、
宮崎市、大分市

企業内研修（7 コース）：福岡市、甘木市、鹿島市、別府市

性別



最終学歴



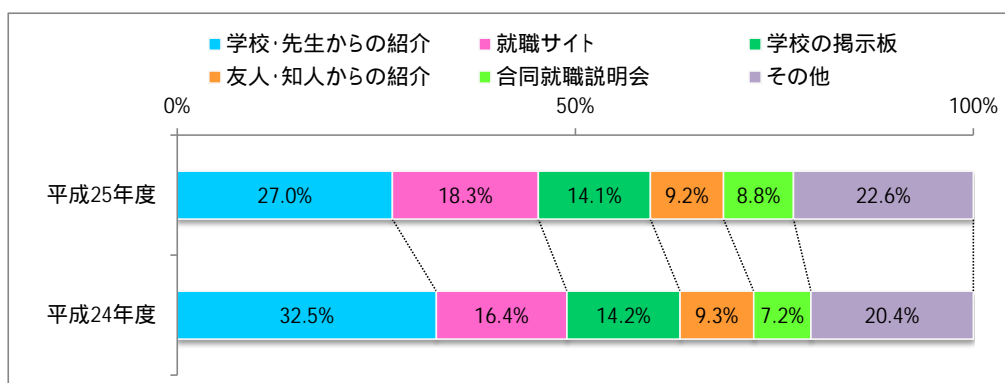
4. 調査方法

アンケート用紙の配布・回収（新入社員公開セミナー・企業内研修時）

【アンケート結果】

1. 就職先を知った最初のきっかけ（1つ選択）

全体では「学校・先生からの紹介」が27.0%で最も多く、次いで「就職サイト」の18.3%、「学校の掲示板」の14.1%という結果であった。昨年との比較では、「就職サイト」、「合同就職説明会」が増加し、「学校・先生からの紹介」、「学校の掲示板」が減少した。

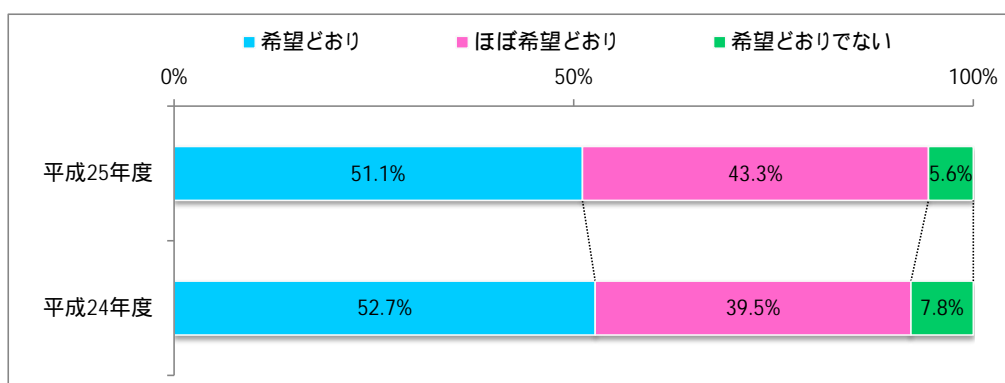


【コメント】

「就職サイト」の割合が、大学院卒では30.0%、大学卒では27.9%となっており、パソコン・スマートフォンを利用した情報収集への移行がみられる。

2. 希望している会社に就職できたか（1つ選択）

全体では「希望どおり」が51.1%、「ほぼ希望どおり」が43.3%で、あわせて94.4%という結果であった。昨年との比較では、「希望どおり」は1.6ポイント減少、「ほぼ希望どおり」は3.8ポイント増加した。専門学校及び高校卒では、「希望どおり」が60%超であった。

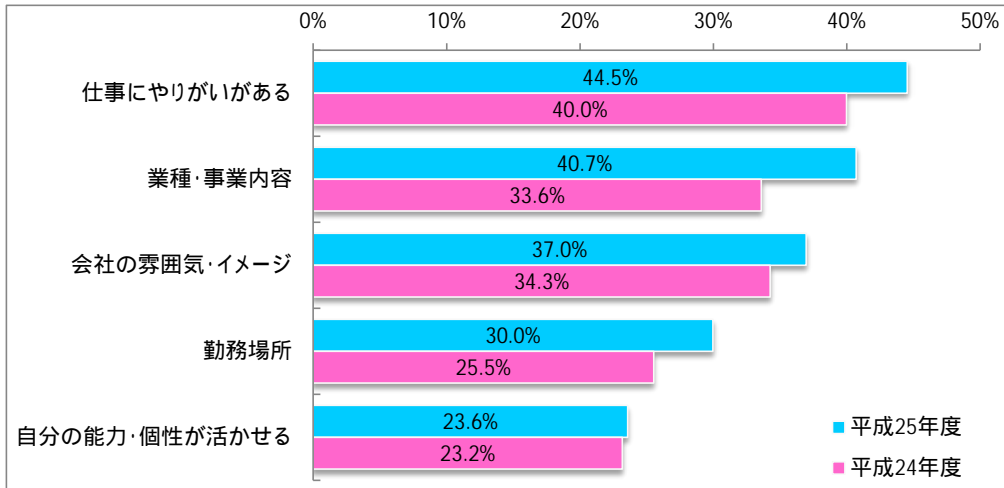


【コメント】

「希望どおり」と「ほぼ希望どおり」の合計は、昨年より2.2ポイント増加しており、就職先に対する満足度は高まっている。

3. 就職先を決める時、重視したもの（3つまで選択）

全体では「仕事にやりがいがある」が44.5%で最も多く、次いで「業種・事業内容」の40.7%、「会社の雰囲気・イメージ」の37.0%という結果であった。昨年との比較では、「仕事にやりがいがある」が4.5ポイント、「業種・事業内容」が7.1ポイント増加した。

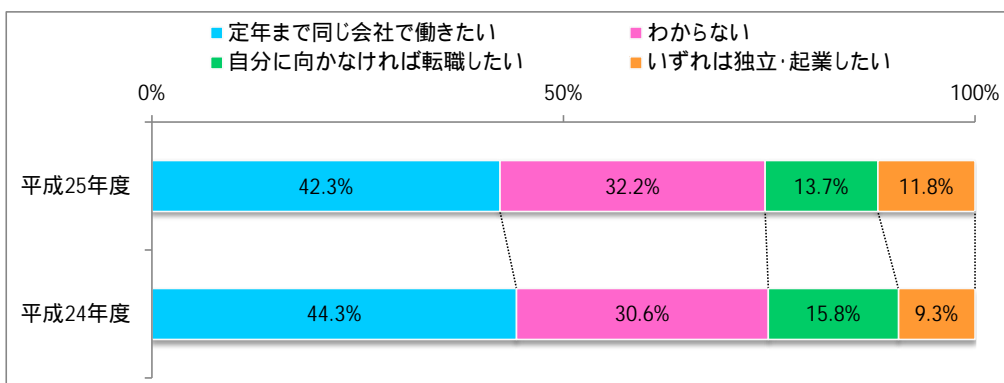


【コメント】

昨年との比較で、「仕事にやりがいがある」、「業種・事業内容」、「勤務場所」の増加が目立っており、こだわりをもって職業選択していると感じられる。

4. 就職した会社で定年まで働きたいと思いますか（1つ選択）

全体では「定年まで同じ会社で働きたい」が42.3%で最も多く、次いで「わからない」の32.2%、「自分に向かなければ転職したい」の13.7%、「いずれは独立・起業したい」の11.8%という結果であった。昨年との比較では、「定年まで同じ会社で働きたい」が2.0ポイント減少、「わからない」が1.6ポイント増加、「自分に向かなければ転職したい」が2.1ポイント減少、「いずれは独立・起業したい」が2.5ポイント増加した。

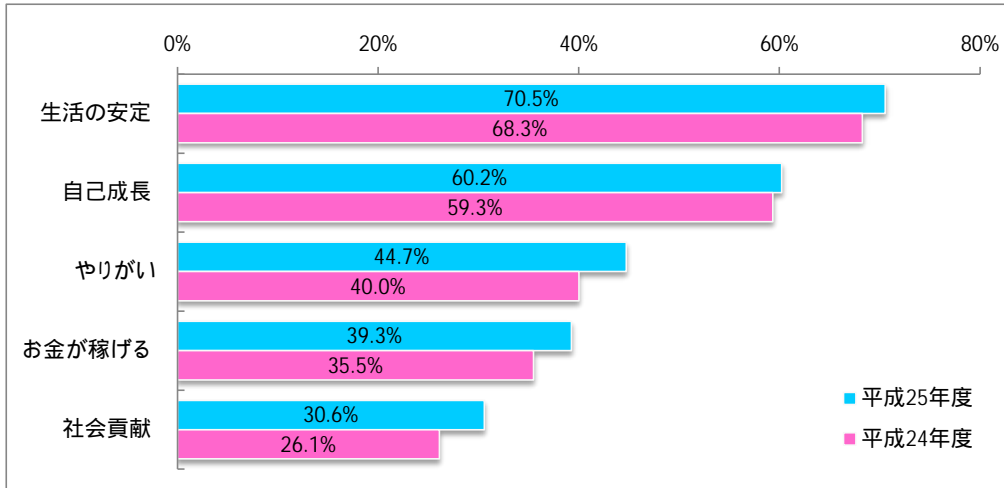


【コメント】

「定年まで同じ会社で働きたい」が減少しており、キャリアに対する考え方の変化と、独立・起業に対するこだわりが強くなっていると感じられる。

5. あなたにとって働く目的は何ですか（3つまで選択）

全体では「生活の安定」が70.5%で最も高く、次いで「自己成長」の60.2%、「やりがい」の44.7%という結果であった。昨年との比較では、「やりがい」の4.7ポイントの増加が目立っている。

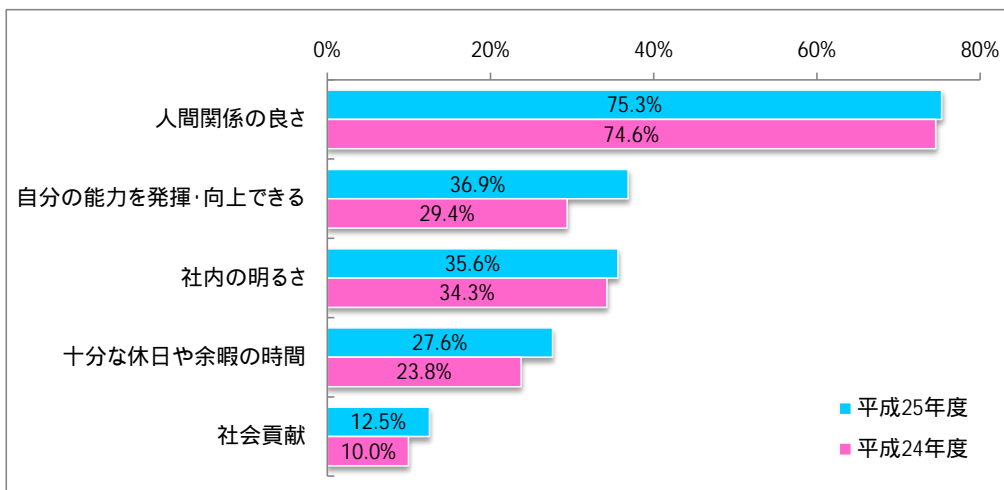


【コメント】

新入社員の安定志向と同時に、自己成長ややりがいを求めるといった向上心も感じられる。

6. あなたが会社に求めるものは何ですか（2つまで選択）

全体では「人間関係の良さ」が75.3%で最も多く、次いで「自分の能力を発揮・向上できる」の36.9%、「社内の明るさ」の35.6%という結果であった。昨年との比較では、「自分の能力を発揮・向上できる」の7.5ポイントの増加が目立っている。

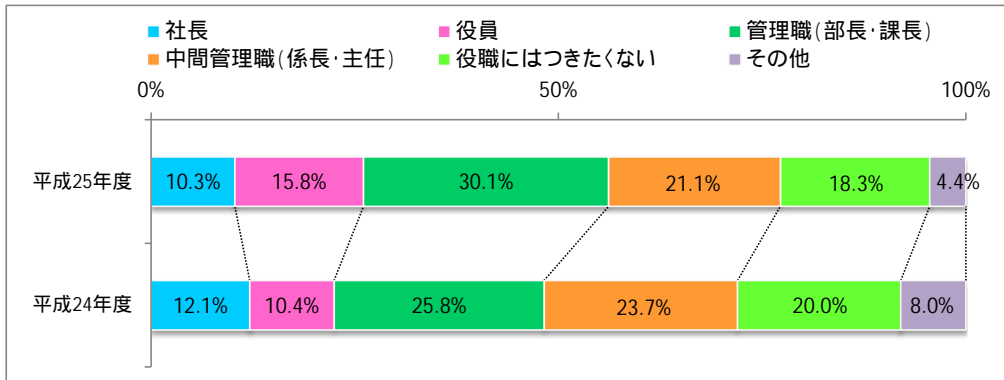


【コメント】

周囲との調和を求める一方で、「自分の能力を発揮・向上できる」が「社内の明るさ」を逆転しており、自分の能力向上へのこだわりが強まっていると感じられる。

7. 将来、どのポジションに就きたいですか（1つ選択）

全体では「管理職（部長・課長）」が 30.1%で最も多く、次いで「中間管理職（係長・主任）」の 21.1%、「役職には就きたくない」の 18.3%という結果であった。昨年との比較では、「役員」の 5.4 ポイントの増加、「管理職」の 4.3 ポイントの増加が目立っている。

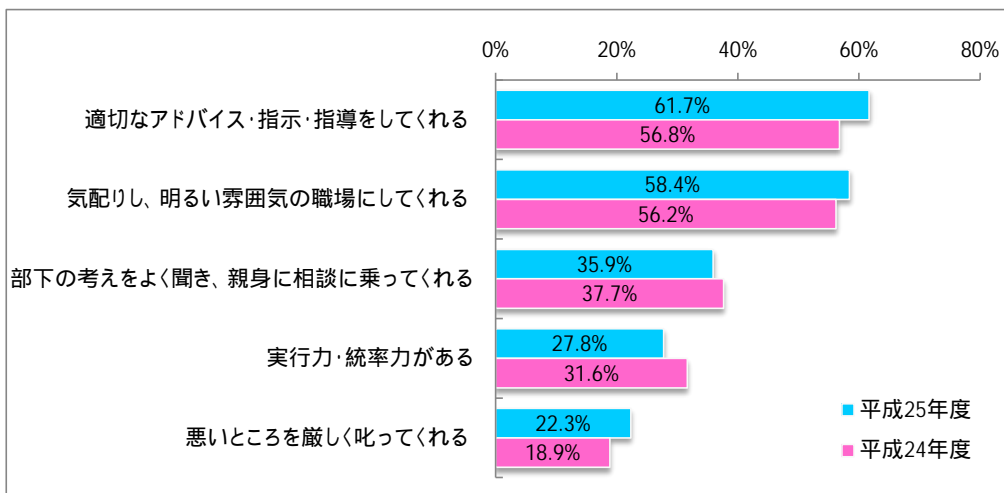


【コメント】

今年の新入社員のうち、将来のポジションとして管理職以上を希望する割合は、全体では 56.2%で、昨年の 48.3%を 7.9 ポイント上回っており、新入社員の出世意欲の高まりが感じられる。個別では、管理職以上を希望する割合は、大学院卒で 82.0%、大学卒で 64.6%、高校卒で 49.2%、専門学校卒で 37.8%、短大卒で 26.3%という結果であった。

8. あなたにとって理想の上司に近いものはどれですか（3つまで選択）

全体では「適切なアドバイス・指示・指導をしてくれる」が 61.7%で最も多く、次いで「気配りし、明るい雰囲気職場にしてくれる」の 58.4%、「部下の考えをよく聞き、親身に相談に乗ってくれる」の 35.9%という結果であった。昨年との比較では、「適切なアドバイス、指示、指導をしてくれる」が 4.9 ポイント、「悪いところを厳しく叱ってくれる」が 3.4 ポイント増加した。



【コメント】

社会人としての能力不足、コミュニケーション能力不足を反映してか、力強く引っ張っていく上司よりも、きめ細やかな指導、気配りのできる上司を求めているように感じられる。

9. あなたにとって理想の上司のイメージに合う有名人は誰ですか（男女1名ずつ）

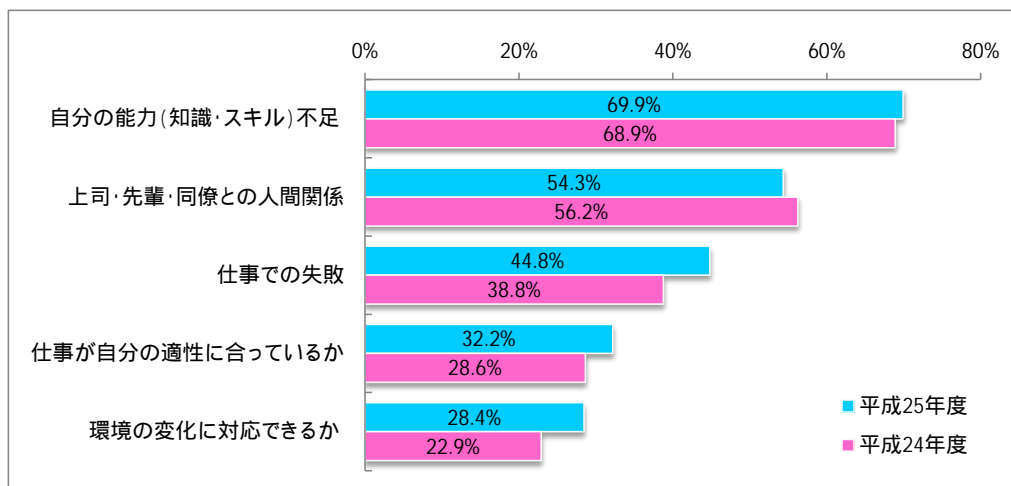
全体では、男性有名人は「明石家さんま」、「所ジョージ」が最も多く、次いで「タモリ」という結果であった。女性有名人は「天海祐希」が最も多く、次いで「江角マキコ」、「真矢みき」という結果であった。

男性 平成25年度			男性 平成24年度		
1	明石家さんま	38	1	所ジョージ	43
1	所ジョージ	38	2	イチロー	32
3	タモリ	34	3	阿部寛	25
4	イチロー	26	4	タモリ	20
5	堤真一	24	5	北野武	18

女性 平成25年度			女性 平成24年度		
1	天海祐希	150	1	天海祐希	98
2	江角マキコ	73	2	真矢みき	71
3	真矢みき	41	3	江角マキコ	49
4	仲間由紀恵	27	4	和田アキ子	30
5	和田アキ子	25	5	松嶋菜々子	29

10. 仕事や生活に対する不安は何ですか（3つまで選択）

全体では、「自分の能力（知識・スキル）不足」が69.9%で最も多く、次いで「上司・先輩・同僚との人間関係」の54.3%、「仕事での失敗」の44.8%という結果であった。昨年との比較では、「仕事での失敗」の6.0ポイントの増加、「環境の変化に対応できるか」の5.5ポイントの増加、「仕事が自分の適性に合っているか」の3.6ポイントの増加が目立っている。

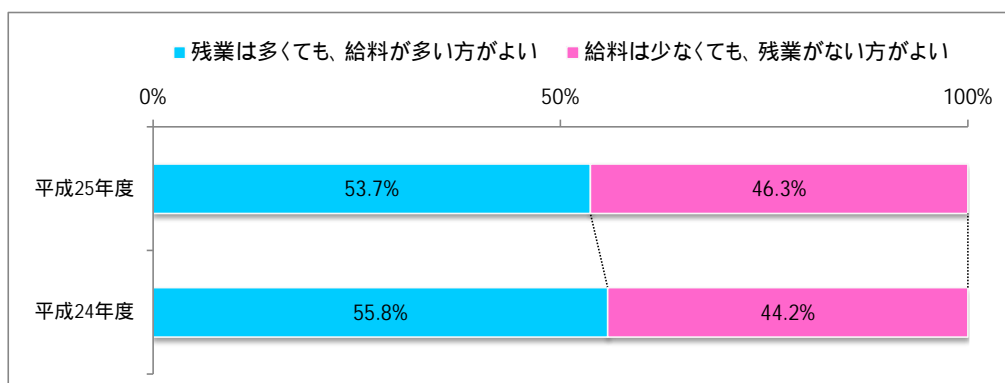


【コメント】

厳しい就職戦線を勝ち抜いてきたが、職業人として能力が不十分なことは自覚しており、失敗することへの不安が強く、それゆえに周囲と良好な人間関係を保ちたいとの思いが感じられる。

11. 給料と残業に対するあなたの考え方はどちらですか（1つ選択）

全体では「残業は多くても、給料が多い方がよい」が53.7%、「給料は少なくても、残業がない方がよい」が46.3%であった。個別では大学院卒、専門学校卒、高校卒は「残業は多くても、給料が多い方がよい」がそれぞれ61.2%、54.0%、66.3%で、大学卒、短大卒は「給料は少なくても、残業がない方がよい」がそれぞれ53.2%、51.3%であった。昨年との比較では、「残業は多くても、給料が多い方がよい」が2.1ポイント減少した。

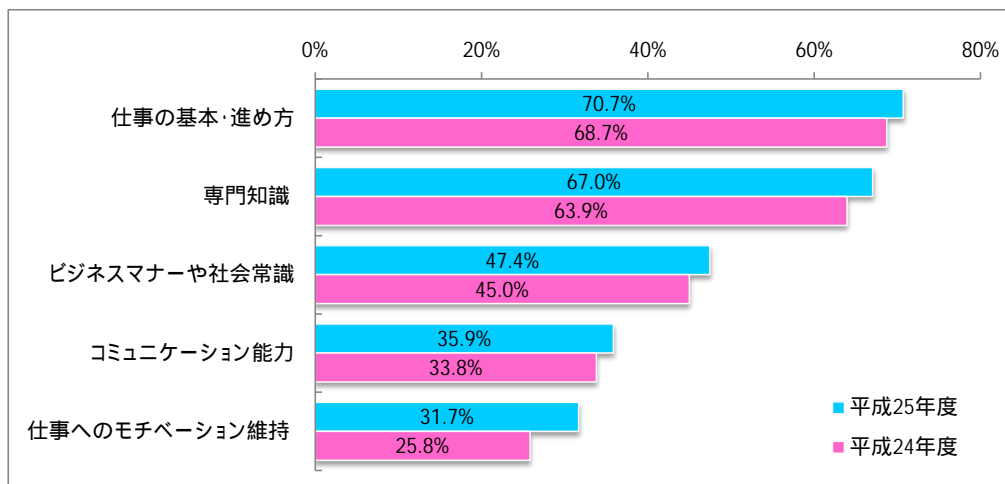


【コメント】

出世意欲は高まっているが、残業には消極的で、プライベートの時間に対するこだわりは譲れない人が増加がしており、仕事もプライベートも充実させたいとの思いが感じられる。

12. 入社後、指導・教育してもらいたいことは何ですか（3つまで選択）

全体では「仕事の基本・進め方」が70.7%で最も多く、次いで「専門知識」の67.0%、「ビジネスマナーや社会常識」の47.4%という結果であった。個別では、専門学校卒以外では「仕事の基本・進め方」、「専門知識」の順で、専門学校卒では「専門知識」、「仕事の基本・進め方」の順であった。



<最後に>

今回のアンケート結果をみますと、厳しい就職戦線乗り越えて入社した新入社員ですが、人間関係や自分の能力に対する不安は大きいようです。一方、就職先を選択するにあたり、「やりがい」や「自己成長」、「業種・事業内容」を重視する傾向がみられるなど、職業選択時の「こだわり」が強まったように感じました。

新卒で就職しても、約 3 割の社員が 3 年以内に離職するという統計があります。就職戦線乗り越えて就職しても、早期に退職すれば、社員および会社双方にとって大きな損失となります。

価値観の形成には、育ってきた環境や経験が大きく影響するものと思います。また、新入社員は自分の職業人としての能力不足を十分に認識しており、それゆえ失敗などに不安を感じています。会社の財産である新入社員に接する際には、価値観の多様性や、新入社員が不安に感じている事柄を十分理解し、サポートすることが大事ではないでしょうか。

本調査結果が、その一助になれば幸いです。

- ご利用に際して -

本資料は、アンケートに基づき作成しましたが、当社はその正確性を保証するものではありません。
本資料は、執筆者の見解に基づき作成されたものであり、当社の統一的な見解を示すものではありません。
本資料に基づくお客様の決定、行為、及びその結果について、当社は一切の責任を負いません。ご利用にあたっては、お客様ご自身でご判断くださいますようお願いいたします。
本資料は、著作権法に基づき保護されています。引用する際は、必ず出所：NCB リサーチ&コンサルティングと明記してください。
本資料の全文または一部を転載・複製する際は当社の許諾が必要です。